

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 22 号

目次

1. 巻頭言	支部長 岩井 千秋	pp.1-2
2. 2018年度秋季支部研究大会報告	大会実行委員長 寺嶋 健史	p.3
3. 2018年度支部第2回役員会報告	事務局幹事 岩中 貴裕	p.4
4. 2018年度支部研究会 第10回 OPP イベント報告	OPP 代表 三熊 祥文	pp.4-5
5. 2019年度春季研究大会発表応募要領		pp.5-6
6. 2019年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』投稿募集		p.6
7. 事務局だより		pp.6-7
編集後記		pp.7-8
【重要】 ニュースレター (NL) 配信についてお願い		pp.8-9

1. 巻頭言

中国・四国支部長 岩井 千秋

少し遅くなりましたが、皆様、明けましておめでとうございます。支部のますますの発展のために、本年もどうぞよろしく願いいたします。それにしても、近年はお正月が短くなったように感じます。実際、私の職場では、1月4日から授業開始、折し

も卒論や修論の締め切りの時期と重なり、フル回転で初日を乗り切りました。かつての大学は12月20日頃から1月10日頃まで冬休みであったような記憶が... 隔世の感があります。

ということで個人的には慌ただしく始ま

った2019年、平成最後の年ですが、まずは昨年の夏以降の支部の活動を振り返ります。

はじめに10月27日に開催された秋季研究大会について。一昨年に続き、この大会は松山大学言語コミュニケーション研究科のご厚意により、同研究科主催の講演会と一緒に開催させていただきました。研究科長の櫻井啓一郎先生はじめ、松山大学の瀧由紀子先生、寺嶋健史先生には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。その講演会ですが、上智大学の吉田研作先生に「英語教育の将来を探る」という題目でご講演いただきました。新設の豪華なキャンパスで開催され、正確な来聴者数は把握していませんが、収容人数200名を優に超えると思われる大教室がいっぱいに埋まっていたから、かなり多くの方が来られたのは間違いありません。吉田先生には、最後に自作の歌をギターで披露されました。昔、NHKの番組で歌われていた曲だそうです。この講演会に続いて、研究発表が行われ、2教室に分かれて、全部で7件の発表がありました。ご発表いただいた先生方には支部大会を盛り上げていただき、ありがとうございました。

続いて、12月16日に広島工業大学で開催された支部研究会、**Oral Presentation & Performance (OPP)**についてです。詳細は、同研究会代表の三熊祥文先生がこのニューズレターで報告されていますので、省略します。夏の豪雨被害で参加の危ぶまれた大学もありましたが、節目の第10回記念大会が盛大に開催されました。立派な会場を使わせていただき、また開催に向けて万全の準備をしていただいた三熊祥文先生、堀部秀雄先生に厚くお礼申し上げます。

次に支部役員の新メンバーについてもこのニューズレターでご報告させていただきます。上述の支部大会の折に役員会を開催し、新年度からの支部役員について協議しました。その結果、まず副支部長ですが、高橋俊章先生（山口大学）に続けてお引き受けいただくこととなりました。次に、支部事務局幹事ですが、業務が多岐にわたることから、現在の岩中貴裕先生（山口学芸

大学）に加え、山中英理子先生（広島国際大学）にもご担当いただくことになりました。支部研究企画委員については（50音順）、榎田一路先生（広島大学）、小崎順子先生（川崎医療福祉大学）、関谷弘毅先生（広島女学院大学）の3名に新たに加わっていただきます。さらに、支部紀要編集委員として中山晃先生（愛媛大学）にメンバーに入らせていただきます。以上の通り、今回は、例年になく多くの先生方に新役員をお引き受けいただくことになりました。支部の活動をサステイナブルにするためには、支部役員も少しずつ世代交代を図っていく必要があります。ご快諾いただいたすべての先生方にお礼を申し上げますとともに、今後ともお力添えのほど、どうぞよろしく願います。それから今年度は社員選挙の年でもあり、10月頃に皆様のお手元に投票用紙が届いたかと思いますが、次の理事会で最終案が報告されることになっています。いずれも役員も、正式に就任いただくのは新年度の4月1日からです。最後に、支部長ですが、もう一期続けるよう役員の皆様から後押しがございましたので、僭越ながら、不肖・岩井が担当させていただきます。会員の皆様にも、役員の皆様にも、どうか暖かく見守っていただき、またご支援のほどよろしくお願いいたします。

最後に、本部の動向もお伝えしておきます。今年度は現会長の任期満了の年でもあります。新執行部体制ですが、次のニューズレターが発刊される頃には整っていることかと思えます。それから、年次国際大会ですが、今年が名古屋工業大学（中部支部）、来年が関西支部で開催されます。そして、来る2021年は60回記念大会として、私たちの中国・四国支部で開催の予定です。今後、この大会の会場や大会テーマなどを決めていく必要があります。

ともあれ、2019年度はスタートしました。今年も多くの支部会員の皆様に、支部の活動を通じて、楽しく、かつ有意義な時間をお過ごしいただけますようお願いしています。

（広島市立大学）

2. 2018年度秋季研究大会報告

大会実行委員長 寺嶋 健史

2018年10月27日(土)に、JACET(大学英語教育学会)中国・四国支部2018年秋季研究大会が、松山大学言語コミュニケーション研究科との共催で、松山大学樋又キャンパス(H2A教室)で開催されました。今回は例年とは違って、自由研究発表の前に特別講演があり、講師として上智大学特別招聘教授・言語教育研究センター長の吉田研作先生を迎え、「日本の英語教育の将来を探る」という演題で、国際的に見た日本人の英語力、どのような英語を教えるべきか、新学習指導要領の基本的な考え方、四技能や大学入試との関係、などについて、約2時間にわたって講演して頂きました。また、講演の最後ではギターを弾きながら歌も歌っていただきました。著名な方ということもあり、大学関係者のみならず、学生や地域の一般の人たちの参加も多く見られ、大盛況で終えることができました。なお、この特別講演に関しては、「えひめ外国語研究会」の会員のみなさまに多大な協力を頂きました。

特別講演の後、7件の研究発表が2つの教室に分かれて行われました。

(H3A教室)

発表1 "Some Suggestions for an Integrated University Language Curriculum" Laurence Dante 先生・David Townsend 先生(就実大学)

発表2 「下位レベル学生の多読に向けての基礎語彙力習得について—語彙テスト結果の分析より—」三宅美鈴先生・山中英理子先生・遠藤利昌先生(広島国際大学)

発表3 「非言語コミュニケーションから読む『グレート・ギャツビー』」長瀬恵美先生(就実大学)

発表4 「ティーチング・ポートフォリ

オとアカデミック・ポートフォリオの違いについて」中山晃先生(愛媛大学)

(H3B教室)

発表1 "Cognitive and Brain Science, Psychology, and Experiential Learning Type Lesson Plans for Elementary School" Glenn Magee 先生(愛媛大学)

発表2 「中学校外国語科の「話すこと」における「やり取り」と「発表」に関する一考察—海外教科書に焦点を当てて—」房野桃花先生(安田女子大学)

発表3 "Is There a Correlation Between English Proficiency, Motivation, and Output?" Douglas Parkin 先生(山口学芸大学)

小学校・中学校そして大学の英語教育研究や実践研究において、認知・脳科学と心理学的見地、コミュニケーション、スピーキング、リーディング、カリキュラム作成、教育業績評価等、多岐にわたる意欲的で示唆に富む内容でした。例えばリーディングでは、多読における下位レベルのメンタルレキシコン(意味・スペル・文法)内の意味とスペルに焦点を当て、学生の単語知識の構築を調査し、多読における基礎語彙指導法の提案を示されました。どの研究発表も今後の研究や授業に参考になる貴重な課題でした。途中で教室備え付けの機器がうまく動作しなくなりご迷惑をおかけすることもありましたが、各教室では発表のあと熱心な質疑応答が繰り広げられ大変意義深い時間を過ごすことができました。

本研究大会にご協力頂いたみなさまには、お礼を申し上げます。

(松山大学)

3. 2018年度JACET中国・四国支部

第2回役員会報告

事務局幹事 岩中 貴裕

2018年10月27日(土)に開催された第2回支部役員会にて、2019年度の事業計画(案)、予算(案)および人事(案)について話し合いが行われました。暫定的ではありますが、お知らせいたします。

1) 春季研究大会

日程：2019年6月1日(土)

場所：就実大学

(岡山市中区西川原1丁目6-1)

2) 秋季研究大会

日程：2019年10月19日(土)

場所：愛媛大学

(松山市道後樋又10番13号)

3) Oral Presentation & Performance
(OPP) 研究会

日程：未定

場所：未定

4) 支部紀要・支部ニューズレター

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』
(第17号)

発行：2020年3月31日(予定)

・支部ニューズレター

発行：2019年7月30日(第23号)、2020年1月10日(第24号)(予定)

4. 2018年度支部研究会 OPP イベント報告

OPP代表 三熊 祥文

OPP2018が昨年末の12月16日(日)に広島工業大学デネブホールにて開催されました。今大会は記念すべき第10回大会ということで、感慨深いものでありました。また、「今年の漢字」である「災」が最も顕著に象徴する西日本豪雨災害の影響を直接被った大学もあり、出場が危ぶまれたケースもありました。その困難をくぐり抜けて漕ぎつけた開催ということも、その特別感を醸し出すイベントとなりました。そんな中、私自身は未だOPPの代表であることに慣れ切っておらず、当日の録画を見直してみると開会の辞において第10回記念大会であることに全く言及しておりません。特別感のかけらもないこのスピーチは、まだ代表になりきっていないことを思い知らされるお恥ずかしい状況を露呈する結果となっ

てしまいました。それでも先述の通り、不参加をも検討された出場校が満を持して発表してくださった作品が、代表の拙さをカバーして余りあるイベントとして結実しました。

広島工業大学のデネブホールが会場となるのは今回で3回目です。本来は日曜日に貸し出しをしないデネブホールですが、交渉によりなんとか会場として使用許可を得、無事役割を果たすことができました。参加人数に対して若干オーバーサイズとも思えるホールですが、各出場校の参加者が10人平均になるとそれほど違和感はなくなります。規模の拡大を殊更に目指す必要はありませんが、常にデネブホール使用に違和感を感じないレベルでの開催をこのイベントの継続に際しての目安にするというのは妥

当な線であるような気がします。

以下にプログラム(発表順)をご紹介します(記載内容は、指導教員名(敬称略)、大学名、発表タイトル、カッコ内に参加学生数)。

- ・ 三熊祥文 広島工業大学 “HIT-Chants 2018, with KANJI ~ U.S.A. Chants ~ Original Speech” (11)
- ・ 吉本和弘 県立広島大学 Drama in English: *Dead Poets Society* (3)
- ・ 岩井千秋 広島市立大学 “Peace Songs in the World, Pleasure” (12)
- ・ 二五義博 海上保安大学校 “The Story of a Sailor” (14)
- ・ 山中英理子 広島国際大学 “What is the Difference between ‘I LIKE YOU’ and ‘I LOVE YOU?’” (6)

- ・ パーキン ダグラス・岩中貴裕 山口学芸大学 “Leader of the Club” (13)

広島国際大学はご存知の通り、西日本豪雨災害で直接の被害があった出場校です。国際大のご発表は、準備の困難さがあったにも関わらず創意あふれる素晴らしいものでした。フロアに対してアンケートを英語で実施し、その解釈を壇上で英語で披露するのはありそうでないアイデアだったと思います。何より学生さんが災害の影響にもかかわらず出場を熱望されたことに大きな感動をいただくとともに、このイベントの英語パフォーマンストレーニングの場の提供という使命を再認識した次第です。

来年も皆様からのご関心をご支援を賜りますよう、祈念しております。

(広島工業大学)

5. 2019年度春季研究大会発表募集要領

2019年6月1日(土)に2019年度春季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部春季研究大会

日時：2019年6月1日(土)

場所：就実大学

(岡山市中区西川原1丁目6-1)

A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)

- a. 発表題目 (Title) : 日本語と英語
- b. 種別 (Style) : 自由研究発表, 実践報告, 事例研究など
- c. 氏名 (Name) :
- d. 研究領域 (Research Area) :
- e. 概要 (Abstract) : 目的, 背景, 仮説, 方法, 結論, 引用文献など

ど日本語の場合は
600字以内, 英語の
場合は 250 words
以内とする。

f. 所属 (Affiliation) :

g. 使用機器 (Equipment needed) :

h. 連絡先 (Contact Address) : メール

アドレスなど

B) 申込応募期間

■2019年5月20日(月)

午後11時59分まで

■申込先

下記支部HPの申込フォームをご利用ください(発表, および懇親会への参加申込ができます)。

<https://ws.formzu.net/fgen/S78585634/>

C) プログラムおよび発表スケジュール詳細は支部会員 ML, および支部 HP でお知らせします。(支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■問い合わせ先
事務局幹事 岩中 貴裕
iwanaka@y-gakugei.ac.jp

6. 2019年度『JACET中国・四国支部研究紀要』投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文, リサーチ・ノート, 実践・研究報告, およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として, 年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は, 所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については, この限りではありません。

投稿論文は, 原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は, 委嘱原稿を除き, 紀要編集委員会が指名する審査員が担当し, 査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上, 奮ってご応募ください。

なお, 発行までの日程は原則として下記

のとおりです。

- 投稿原稿締め切り：10月末
- 審査結果通知：12月末
- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

なお, 投稿資格は, 所定の学会費を完納した支部会員に限ります。複数名による投稿の場合には, 必ず本支部会員1名を含むこととし, その他の投稿者も論文投稿時にはJACET会員でなければなりません。

投稿先：支部HP フォームズから

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長
岩井千秋 (広島市立大学)

E-mail: iwai@hiroshima-cu.ac.jp

7. ～事務局だより～

2018年8月から2018年12月までの新入会員をご紹介します。

★新入会員紹介★

倉増 泰弘 (徳山工業高等専門学校)

房野 桃花 (安田女子大学大学院生)

長瀬 恵美 (就実大学)

ウィリアムズ 厚子 (香川大学)

坂田 浩 (徳島大学)

(敬称略)

皆様、どうぞよろしくお願いたします。

2019年度の支部人事(案)および本部運営委員(案)をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしくお願いたします。

★2019年度支部人事(案)★

(2019年6月定時社員総会まで)

【支部役員】

支部長 岩井千秋 (広島市立大学)

副支部長 高橋俊章 (山口大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)

*岩中貴裕 (山口学芸大学)

山中英理子 (広島国際大学)

支部会計担当者

堀部秀雄 (広島工業大学)

支部研究企画委員 (24名)

五百蔵高浩 (高知県立大学)

池野 修 (愛媛大学)

岩中貴裕 (山口学芸大学)

上西幸治 (広島大学)

榎木一路 (広島大学)

折本素 (愛媛大学)

小崎順子 (川崎医療福祉大学)

小山尚史 (岡山大学)

関谷弘毅 (広島女学院大学)

高垣俊之 (尾道市立大学)

高橋俊章 (山口大学)

瀧由紀子 (松山大学)

田辺尚子 (福山平成大学)

田淵博文 (就実大学)

寺嶋健史 (松山大学)

中住幸治 (香川大学)

中山晃 (愛媛大学)

二五義博 (海上保安大学校)

平本哲嗣 (安田女子大学)

堀部秀雄 (広島工業大学)

松岡博信 (安田女子大学)

三熊祥文 (広島工業大学)

三宅美鈴 (広島国際大学)

山川健一 (安田女子大学)

山中英理子 (広島国際大学)

ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 岩井千秋 (広島市立大学)

総務委員会 (支部事務局幹事)

岩中貴裕 (山口学芸大学)

財務委員会 (支部会計担当者)

堀部秀雄 (広島工業大学)

国際大会組織委員会本部

山川健一 (安田女子大学)

『JACET 通信』委員会

松岡博信 (安田女子大学)

学術出版委員会紀要担当

平本哲嗣 (安田女子大学)

セミナー事業委員会 サマーセミナー担当

田淵博文 (就実大学)

研究促進委員会

岩井千秋 (広島市立大学)

学術交流委員会

堀部秀雄 (広島工業大学)

大学英語教育学会賞運営委員会

池野 修 (愛媛大学)

★支部紀要・ニューズレター発行予定★

- 『支部紀要』第17号
2019年3月31日刊行(予定)
- 『大学英語教育学会中国・四国支部ニ

ューズレター』

- 2019年7月30日(第23号)発行(予定)
- 2020年1月10日(第24号)発行(予定)

【編集後記】

時が経つのは早いものです。高等教育機関で英語を教え始めて28年が経とうとしています。この4月からは29年目に突入します。この28年間で大学教育を取り巻く環境は大きく変化しました。多くの大学が教育と研究に集中できる場ではなくなりつつあります。私自身、気がつくと会議と書類の作成で1日が終わっていることがあります。しかし、教育と研究が我々の仕事の中心であることは間違いありません。学会活動を通して、教育者・研究者として互いに研鑽を続けましょう。

2019年が皆様にとって素晴らしい1年になりますことを祈念します。



(T.I.)

【重要】JACET(大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 岩井 千秋 (広島市立大学)

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

1. 支部 HP

(<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。

2. 入力フォームのサイトのページ

(<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。

3. ウェブの入力フォームに下記の情報を入力する。

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

すでに登録している

希望する

希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の岩中

(iwanaka@y-gakugei.ac.jp) までお問い合わせください。

メールアドレスが変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第 22 号

2019 年 1 月 18 日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 岩井 千秋)

編集 : JACET 中国・四国支部 岩中 貴裕

発行所 : 〒754-0032 山口市小郡みらい町一丁目 7 番 1 号 山口学芸大学 教育学部教育学科
岩中 貴裕

連絡先 : Tel:083-972-3288 FAX:083-972-4145 E-mail: iwanaka@y-gakugei.ac.jp